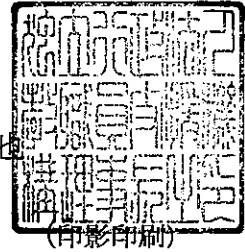


独 教 研 第 4 5 号
平成30年5月23日

各 都 道 府 県 知 事 殿

独立行政法人教職員支援機構
理事長 高 岡 信 也



平成30年度健康教育指導者養成研修の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成30年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

ついては、推薦がある場合は、別添の実施要項中「7受講者（4）推薦手続」のとおり、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を平成30年7月4日（水）までに、電子メールにて、つくば中央研修センター研修事業課宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/training/002/012.html>）からダウンロード可能となっております。

なお、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。推薦にあたっては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。

問合せ先

独立行政法人教職員支援機構
つくば中央研修センター 研修事業課
研修プロデュース室 神林・長谷川
TEL:029-879-7010・7012
FAX:029-879-6645
e-mail: kk2@ml.nits.go.jp

岩手県

30.5.28

法学第

号

平成30年度健康教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

多様化・深刻化している健康課題を解決するため、各都道府県等における健康教育に関する推進体制の構築、学校における健康教育に関する指導の充実等について、必要な知識等を習得し、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 平成30年9月18日（火）～ 9月21日（金）

5 会場 独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センター
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 定員 200名（10ユニット）

7 受講者

（1）受講資格

- ① 各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者。
- ② 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭及び養護教諭であって、地域において本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生。

（2）推薦人数

各都道府県（中核市分を含む）においては4名程度、各指定都市においては2名程度とする。

また、より効果的な推進体制の構築及び演習の充実のために小、中、高の全ての校種及び、校（園）長、副校（園）長、教頭、教育センターの研修担当主事等を含むなど、可能な限り校種、職種に偏りが無いものとする。

（3）健康状況の確認

1週間程度の宿泊研修となるため、宿泊研修に耐え得る健康状況の者を推薦するよう配慮すること。

（4）推薦手続

推薦期限は、平成30年7月4日（水）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育

委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人及び独立行政法人国立青少年教育振興機構については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(5) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

8 研修内容

講義や演習を通じて、学校保健安全法等に規定されている保健管理の在り方、並びに保健教育の在り方・進め方、学校保健を推進するための効果的なマネジメントについて理解を深める。あわせて、児童生徒のメンタルヘルスや発達障害に関する現状とこれらの対応方法、学校における救急処置、児童虐待への対応、感染症対策等について学び、健康教育の指導者として研修を企画・運営する力量を形成する。

日程案は別紙1のとおりとする。

9 部会等の内容

健康教育について全体講義の他、以下のように「講義・演習2」は①～③部会に、「講義・演習4」は「学校における救急処置に関する研修の在り方（Aコース）」、「児童虐待への対応（Bコース）」に分かれて、それぞれの内容について理解を深め、具体的な対応を学ぶとともに、健康教育に関する喫緊の現代的課題の専門的知見を高める講義・演習等を実施する。「講義・演習2」の「①保健教育の在り方」部会の演習においては、教科等の指導案作成を通して指導者の養成を図るため、その研修成果の波及を行うことを考慮し推薦すること。

<講義・演習2>

①部会：「保健教育の在り方」（課題を1つ選択）

「心の健康」、「医薬品・喫煙・飲酒・薬物乱用」、「現代的な疾病の予防」

②部会：「学校保健マネジメント」

③部会：「保健管理の在り方」

<講義・演習4>

Aコース：「学校における救急処置に関する研修の在り方」

Bコース：「児童虐待への対応」

9 事前課題

部会ごとに事前課題を課す。内容等詳細については、受講者決定通知の際に連絡する。

10 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修は、原則として宿泊研修とし、教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。
- (3) 本研修終了後に受講者アンケート等を行う。また、研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

平成30年度健康教育指導者養成研修 日程表(案)

		9:00	9:30	10:00	11:30	12:30	13:30	13:40	14:40	14:50	15:50	16:00	17:00		
		講義1(90分)				講義2(60分)			講義3(60分)			講義4(60分)		講義5(60分)	
9 /18 (火) 第1日目				オリエンテーション 開講式	健康教育の充実の在り方及び研修の進め方	屋食・休憩	保健管理の在り方	休憩	保健管理の在り方	休憩	保健教育の在り方	休憩	学校保健マネジメント		
					◎目的: 健康教育の充実のため、現状と課題、意義・目的を踏まえた研修のねらい並びに本研修の全般的構成について理解する		◎目的: 保健管理は、学校保健安全法等により規定されており、全職員の共通理解のもとに実施されるものであることを理解する。		◎目的: 保健管理は、学校保健安全法等により規定されており、全職員の共通理解のもとに実施されるものであることを理解する。		◎目的: 体育、保健体育を中心に、特別活動、総合的な学習の時間等と関連を図った保健教育の進め方について理解を深める。		◎目的: 学校保健を推進するための効果的なマネジメントについて理解を深める		
		スポーツ庁 教科調査官				文部科学省 健康教育調査官			文部科学省 健康教育調査官						

	8:15	8:30	12:00	13:00	17:00
9/19 (水) 第2日目	講義・演習2-1(210分)			講義・演習2-2(240分)	
	◎目的: 班別演習による指導案作成を通じて、発達段階に応じた適切な保健教育について学ぶ			◎目的: 班別演習による指導案作成を通じて、発達段階に応じた適切な保健教育について学ぶ	
	心の健康 医薬品・喫煙・ 飲酒・薬物乱用 現代的な疾病 の予防			心の健康 医薬品・喫煙・ 飲酒・薬物乱用 現代的な疾病 の予防	
	◎目的: 学校全体の保健活動を推進するため、班別演習を通じて効果的な組織マネジメントについて学ぶ			◎目的: 学校全体の保健活動を推進するため、班別演習を通じて効果的な組織マネジメントについて学ぶ	
	◎目的: 学校における児童生徒の健康課題解決の基本的な進め方(教職員等の果たす役割、組織での支援等)について学ぶ			◎目的: 教職員による健康観察の重要性について学ぶ	
	各ユニットで 内容の共有			各ユニットで 内容の共有	

	8:15	8:30	11:30	12:30	15:00	15:15	17:00
9/20 (木) 第3日目	講義・演習2-3(180分)			講義・演習2-4(150分)		講義・演習3(105分)	
	◎目的: 班別演習による指導案作成を通じて、発達段階に応じた適切な保健教育について学ぶ			◎目的: 班別演習の成果発表を通して、保健教育について理解を深める		子供の心のケア	
	心の健康 医薬品・喫煙・飲酒・薬物乱用 現代的な疾病の予防			心の健康 医薬品・喫煙・飲酒・薬物乱用 現代的な疾病の予防		◎目的: 学校における児童生徒のメンタルヘルス及び発達障害等に関する現状を理解するとともに、その対応方法について学ぶ	
	◎目的: 学校全体の保健活動を推進するため、班別演習を通じて効果的な組織マネジメントについて学ぶ			◎目的: 部会別演習における成果発表を通して望ましい組織体制についての理解を深める		移動・休憩	
	◎目的: 学校における事例検討会の進め方や指導助言のあり方を学ぶ			◎目的: 学校における疾病管理と地域の関係機関との連携について学ぶ			
	【小学校】 【中学校】 【高等学校】						

	8:15	8:30	10:15	10:30	12:00	13:00	15:00	15:15
9/21 (金) 第4日目	講義・演習4(105分)			講義・演習5(90分)		講義・演習6(120分)		
	A.学校における緊急処置に関する研修の在り方			学校における感染症対策の在り方		健康教育の指導者として		
	B.児童虐待への対応			◎目的: 学校における感染症対策の在り方について理解を深める		◎目的: 健康教育に関する教員研修の構想・企画をとおして、本研修における成果を整理するとともに、研修講師としての必要な知識や技術等についての理解を深める		
	移動・休憩					各ユニットで 研修プランの共有		
						開講式		

平成30年度健康教育指導者養成研修 受講者推薦名簿

中核市教育委員会・私立学校・国立大学法人・私立大学法人・私立大学法人・私立大学法人・私立大学法人・私立大学法人

(機関等名)

氏名	フリガナ	年齢 (※)	性別	所属			希望 学校種 (注5)	校務分掌 (注6)	経験 年数 (注7)	希望 職種 (注8)	希望部会(課題)(注9)			講義・演習4 希望コース (注10)	備考
				名称	職名	郵便番号	所在地				第1希望	第2希望	第3希望		

(記入例)

〇〇 〇〇	フリガナ	0	〇	〇〇市立〇〇小学校	教諭	000-0000	〇〇市〇〇X-X-X	小	保健主事	5	0	①心の健康	②	A	
〇〇 〇〇	フリガナ	0	〇	〇〇〇大学大学院	大学院生	000-0000	〇〇市〇〇X-X-X	中		2	0	③	②	B	

- 提出された受講者推薦名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないください。(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
- 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<http://www.nils.go.jp/training/002/012.html>)よりダウンロードしてください。
- 「希望学校種」欄には、「小」「中」「高」「大」いずれかの希望する学校種を記入してください。
- 「校務分掌」欄には、教諭のみ現在の校務分掌を記入してください。
- 「経験年数」欄には、現在の校務分掌に関わらず、本研修に関わる校務分掌の経験年数を記入してください。過去に本研修に関わる校務分掌を担当した場合、備考欄に「元〇〇」等と記入してください。
- 「養護教諭経験」欄には、養護教諭として勤務した経験のある方は、その経験年数を記入してください。
- 「希望部会(課題)」欄には、参加を希望する部会番号(①部会の場合①、②部会の場合は②、③部会の場合は③)を記入してください。

- ①部会:保健教育の在り方
②部会:学校保健マネジメント
③部会:保健管理の在り方

《担当者》

また、①部会を希望する場合には、部会番号「①」の後ろに希望する課題を記入してください。

例:「①心の健康」、「①医薬品・喫煙・飲酒・薬物乱用」、「①現代的な疾病の予防」

「講義・演習4 希望コース」欄には、参加を希望するコースを記入してください。

(「学校における救急処置に関する研修の在り方」の場合は「A」、「児童虐待への対応」の場合は「B」)

研修実施の都合上、希望する部会、課題にならない場合がありますので、予めご了承ください。

※ 年齢は、平成31年3月31日現在で記入してください。

氏名	所属機関・課等	所属住所
電話番号	ファックス番号	メールアドレス